

報道関係者各位

2009年12月2日

慶應義塾大学(環境情報学部)と岩手県立大学が共同実施する『釜石フィールドワーク』
 について

～学生たちが「鉄と海のまち・釜石」を発見・再発見し、地域の魅力を発信します～

岩手県立大学(岩手県滝沢村)では、地域社会に貢献する大学として、学生が地域の皆さんとともに、ボランティア活動、温泉街の活性化、グリーンツーリズム活動など、積極的な地域貢献活動や地域課題の解決策に取り組んでいます。

今回、慶應義塾大学環境情報学部(神奈川県藤沢市)の加藤文俊研究室がすすめる“キャンプ”の指導・協力を得ながら、両大学の学生たちが「よそ者・若者」の視点で、「鉄と海のまち・釜石」の地域資源を発見・再発見し、インタビュー結果や記録を「ポスター」や「ビデオクリップ」という形にして、現地で編集・制作します。

フィールドワークの最終日には、「ポスター展示会」を開催。学生たちが見つけた「地域の魅力」を発信し、地域の皆さんと交流を深めながら、一緒に地域づくりを考えます。

◇ 日程・場所 2009年12月11日(金)～12月13日(日)2泊3日、岩手県釜石市

◇ 参加メンバー

慶應義塾大学環境情報学部：加藤文俊准教授／加藤研究室の学生

岩手県立大学：学生ボランティアセンターと総合政策学部の学生／地域づくり研究所／
 研究・研究地域連携本部

釜石市：総務企画部総合政策課／企業立地推進本部／釜石市民の皆さん

ゲストアーティスト：木村 健世氏(加藤研究室ゲスト)

※ポスター編集・製作時、加藤准教授とともに指導・助言をいただきます

◇ 全体スケジュール

日 程		内 容	場 所
12/11(金)	21:00 から	○オリエンテーション	釜石ステーションホテル(予定)
12/12(土)	午前	○学生によるフィールドワーク	釜石市内の各箇所
	午後	○編集／製作作業	釜石ベイシティホテル
	夕方から	○中間発表、コメント(加藤氏、木村氏)	同 上
12/13(日)	午前	○編集／製作作業	釜石ベイシティホテル
	12:00 から 13:30～15:00	○ポスター展示会・表彰式 一般公開 ○地域との交流会、意見交換会	

◇ フィールドワークの予定箇所

海辺の賑わい(魚河岸地区、観光船はまゆり)、市街地の史跡・路地裏、鉄の史跡

グリーンツーリズム活動(根浜海岸から栗林地区) ほか

※変更あり

◇ 期待される成果

○ 地域と協力した実践的かつ具体的なフィールドワークやワークショップを実施することで、大学が地域とのつながりを意識して、地域づくり支援や地域活性化策を提案するなど、地域社会に還元できる。

○ 大学生の視点によるインタビュー調査や記録などは自治体の総合計画の策定に活用できるほか、製作・編集したポスターは観光振興や地域活性化の情報発信に広く活用でき、地域の元気再生に向けた住民の意識啓発につながる。

【お問い合わせ先】

・ 全般：岩手県立大学 研究・地域連携本部(石田) TEL 019-694-2027

・ 調査研究：慶應義塾大学環境情報学部 加藤文俊研究室(加藤) TEL 0466-49-3619

・ 地域：釜石市総務企画部総合政策課(佐々木) TEL 0193-22-2111 内線 132/133

～ おもな参加メンバーとゲストのご紹介 ～

○加藤 文俊 (かとう ふみとし) 氏

慶應義塾大学環境情報学部准教授。フィールドワークを通じて地域コミュニティに偏在する多様な「ゲットプレイス」を探し、その成果はポストカード、町歩き音声ガイド、電車の中吊り広告、CM映像などでまとめ、新たな地域メディアのデザインを提案。カメラ付きケータイをはじめ様々なモバイル機器を活用した社会調査法の開発をすすめている。全国でリサーチキャラバンを試み、東北では岩手が初めて。

※加藤文俊研究室のHP <http://fkilab.net/>

○木村 健世 (きむら たてよ) 氏

アーティスト。2001年アーティストグループ「フタボンコ」結成。以降、インスタレーションやワークショップを中心に、場所や記憶をテーマとしたプロジェクトを行っている。今回は、加藤研究室のゲストアーティストとして参加。

[主な展覧会／活動]

2001「ある視点」(代官山インスタレーション'01 グランプリ作品)

2003「ある視点・十日町編」越後妻有アートトリエンナーレ(新潟)

2006「あなたのあかり」越後妻有アートトリエンナーレ(新潟)

2005-2006「ココにある日常 ソコにある思い出ー山口さんちの365日」山口情報芸術センター

2007「オモカゲプロジェクト」とたんギャラリー(東京)

2007「赤坂文庫」東京都港区赤坂屋外広域、TBS本社屋(東京) ほか

※関連HP <http://documents.ycam.jp/omode/> <http://trolls08.exblog.jp/8810445/>

※今回のフィールドワークにおける、岩手県立大学の参加学生は、次の学生たちで構成。

○岩手県立大学・学生ボランティアセンター(学生VC)

社会福祉学部の学生が中心となったボランティア組織。ボランティア活動に意欲を示す学生のマンパワーと、地域から寄せられるボランティアニーズを結びつける場所として、開学10周年の節目に設立。学生のボランティア活動の活性化、学生が社会参加・社会貢献をしていくことを目標とする。アドバイザー(教員)は、社会福祉学部山本克彦准教授。おもな活動実績は、川前パトロール隊、Do Nabe net(土鍋ねっと)、冬の路上生活支援「ぼかぼかパックプロジェクト」など

○花巻・台温泉活性化プロジェクトチーム

総合政策学部の学生有志15名ほどが地元温泉街の関係者と連携、花巻・台温泉の活性化策を検討。岩手県中小企業団体中央会が主催。自然環境保全と景観整備、情報の積極的発信、白金ロールなどのオリジナルメニュー開発、宿泊プランなどを検討・提案(2009年10月最終報告)。アドバイザー(教員)は、総合政策学部山本健講師。

○釜石地区グリーンツーリズム活動

総合政策学部吉野英岐教授とそのゼミ生が、「A&Fグリーンツーリズム実行委員会」と協力連携し、釜石・根浜海岸での漁業体験と橋野地区での山里体験を組み合わせた豊富な体験メニューを開発。毎年、釜石に入り、地元の方々と交流を図る。2008年、その活動成果が認められ、地元の幹事である「宝来館」(女将:岩崎昭子)は、グリーンツーリズム大賞を受賞。